



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成28年6月28日 第17号

発行者：校長 伊藤 俊

## 速報 東北大会

### 第71回東北高等学校陸上選手権大会

6月17日（金）から19日（日）まで青森県で開催された陸上東北大会400mに宮城県代表として3年生の熊谷暦太君が出場しました。見事予選を突破し準決勝に進出し、あと一步で決勝進出はならなかったものの、東北6県で上位の実力があることを証明しました。熊谷君には陸上選手としての顔と本校生徒会長というもう一つの顔があります。壮行式では自ら先頭に立って運動部全員を応援してくれました。本気で他を応援していると最後はご褒美となって自分に帰ってくるものです。熊谷君、真に本校の顔です。感動をありがとうございました。お疲れ様でした。



【総体壮行式で校旗を持って応援の先頭に立つ熊谷君】

〈3年1組 熊谷 暦太 君〉

この人生初の東北大会まで「うまくいかない」「やめようか」実は毎日が葛藤の連続でした。部活・勉強・生徒会活動の「三立」の難しさ、支えてくれた人たちの顔が頭に浮かび、情けなさや悔しさが心を締めつけ眠れない夜もありました。

父親をまねて、中学一年生からはじめた陸上ですが、足には相当な負担がかかり、医師からは「陸上をやめるしかないよ」と忠告された時もありました。将来自分の足は大丈夫なのかと不安な日々も、今となっては懐かしく思います。今こうして東北大会に出場できた

のも、信じてくださった先生方、いつも切磋琢磨しながら力強く励ましてくれた仲間達、そして家族のお陰で、本当に感謝の気持ちしかありません。西高陸上競技部での出会いや数々の思い出は私の高校生活を彩ってくれました。

多くの激励を受け、全員の思いを背負い全力を尽くしましたが、準決勝で敗れ、インターハイの壁は高いものでした。この悔しさを忘れず七月にある国体予選で400m、4継ともにリベンジを果たし、最高の結果で部活動を引退できるよう、残りわずか精一杯頑張りたいと思います。陸上を続けてきて本当によかった。皆さん本当にありがとうございました。

### 第38回東北高等学校空手道選手権大会

6月24日（金）から26日（日）まで岩手県で開催された空手道東北大会に宮城県代表として3年1組浅野こすもさんが出場しました。宮城県大会を制し、今回の結果に関わらず全国高校総体出場は決定済みですが、今回は2回戦で第3位入賞の青森代表に惜敗、8強入りを逸しました。しかし、さすが宮城県優勝者という堂々の戦いぶりでした。インターハイまであと一ヶ月あります。ますます稽古を重ね、更なる活躍を祈ります。全国に石巻西高校浅野ここにありと示してきてください。



東北大会の浅野さん



### 公の心 一雨の日の苦情が減っていますー

4月、全校生徒の皆さんに「公の心」についての話をしました。一人一人が基本的なマナーを守ること、相手を思いやることで、どれだけ暮らしやすい世の中になるかということです。

梅雨の雨が続いていますが、「公の心」を感じるがありました。それは、朝の通学時、車による校門周辺の交通渋滞がなくなってきたことです。それに伴い保護者の方々や地域の方々からのご批判の電話が激減したことです。これは生徒の皆さんが交通渋滞を考え、雨の日でも公的交通機関等を用いたり、少し遠くで降りてくれていること、そして保護者の皆様や地域の皆様にもご理解・ご協力をいただいていることと心より感謝いたしております。西高生の「公の心」は着実に育まれています。